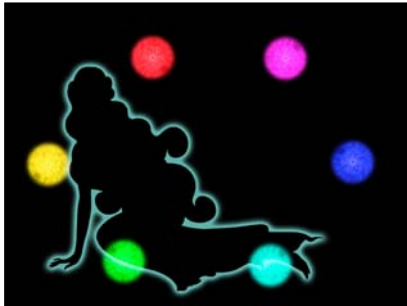


おおぐま座こぐま座神話

春の宵、北の空高くのぼったおおぐま座の北斗七星が、美しく輝きます。
そのひしゃくの形をそのまま小さくしたような姿が、こぐま座。
仲良く北の空をめぐる、くまになった親子のお話です。

(3分59秒)



1. むかしむかし、神と人間がまだ一緒に暮らしていたころのこと。月と狩りの女神アルテミスに仕える妖精の中に、カリストという若くて魅力的な女性がいました。



4. しかし、幾ばくも立たないうちに、恐れたことが現実。

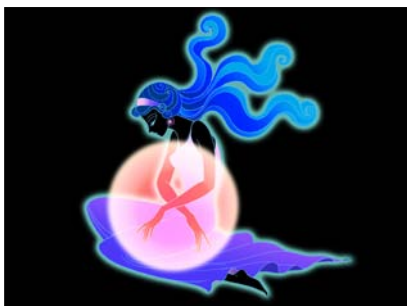
カリストは、必死で許しを請いましたが、ヘーラの怒りは解けません。



神々の王ゼウスは、ひとめ見て彼女をとて気に入りしました。



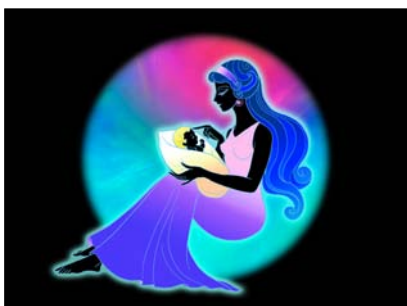
5. 「おまえなど、くまにでもなっておしまい！」



2. カリストは、ゼウスの不思議な力によって、いつしかひとつの命を宿したのです。



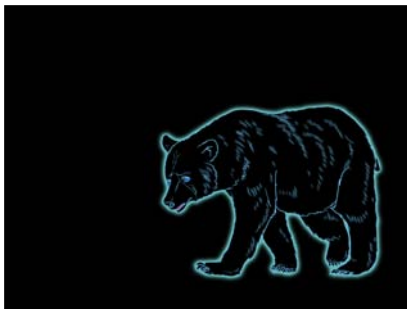
SE シャキーン



3. やがて、森の奥の洞穴で男の子が生まれ、アルカスと名付けられました。カリストは、森の奥で密かに育てました。それは嫉妬深いゼウスの妻ヘーラに、アルカスの存在が知られることを恐れたからでした。



6. SE がおー！



7.
くまに変えられてしまった
カリストは、悲しいうなり
声を残して森の奥に消えて
いきました。



10.
くまの姿となっても、心はア
ルカスの身を案じる妖精カリ
ストのまま。
ひとめでアルカスだとわかっ
たカリストは、くまの姿であ
ることも忘れ、アルカスに抱
きつこうとしました。



11.
何も知らないアルカスは、
襲いかかってきた大ぐまに、
自慢の槍を振り上げます。



8.
それから十数年。



森の猟師に育てられ、
立派な狩人に成長したアル
カス。



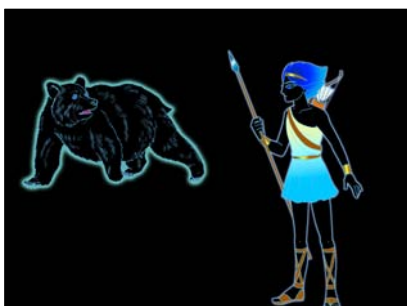
12.
SE 稲妻
次の瞬間、稲妻が空を引き
裂きました。



9.
ある日、森で出会った大
きなくま。



13.
あまりにもかわいそうな光景
をみかねたゼウスが、彼ら
を天にあげ、星座にしたの
でした。
もう、二度と離ればなれに
ならないように。



このくまこそ、母カリスト
の変わり果てた姿だったの
です。



それが、おおぐま座とこぐま
座です。

不幸な過去を忘れ、今では、
いつも親子仲良く北の空を守
っているというわけです。

語り：山本百合子 脚本：高島規子 イラスト：塚田洋子 タイトルCG：NOBO 編集：福留政彦